

パオちゃん's EYE

2021年6月1日発行 No.51

キョウトアオハナムグリの80年ぶりの同窓会



キョウトアオハナムグリ，1941年6月1日，赤磐郡高月村（現岡山市北区）産。
左から，雄（植田千弘コレクション）；雄（伊藤芳明コレクション）；雌（黒田祐一コレクション）。

キョウトアオハナムグリは，樹液に集まる珍しいコガネムシで寄贈標本の中にあるとうれしいから気になります。ここに示した3頭のキョウトアオハナムグリはそれぞれ別の方が所蔵されていた昆虫標本コレクションとして博物館に寄贈されたものですが，標本に付けられた採集データを見比べると，どれも同じ日に同じ場所で採集されたものであることに気が付きました。植田千弘氏の標本はご自身での採集品，伊藤芳明氏と黒田祐一氏の2頭は栗原稔茂氏による採集品のようです（黒田標本の「T.K.」は栗原氏のイニシャル）。伊藤氏，栗原氏，黒田氏の3名は岡山県第一岡山中学校（現県立岡山朝日高の前身）の同窓生で，植田氏は金川中学校（現県立岡山御津高の前身）の出身ですが，当時の記録によれば昆虫を通じて互いに交流があったことがわかっています（奥島・岡本，2020，しぜんしくらしき，(114)）。きっと，栗原氏と植田氏が一緒に採集に出かけ，栗原氏が採集品の一部を伊藤氏と黒田氏に分けてあげたのでしょう。その後，80年の時を経て3頭のキョウトアオハナムグリは博物館で再会を果たしたのです（山地ほか，2020，しぜんしくらしき，(115)）。

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！パオより

